

主 論 文 要 旨

No.1

報告番号	甲 乙 第	号	氏 名	山野 大星
主 論 文 題 目： 専門職教育におけるパターン・ランゲージによる学びの支援：建築教育カリキュラムでの実践				
(内容の要旨)				
本論文では、系統的な専門職教育において、学習者の学びの支援をするためのパターン・ランゲージを作成し、実際に学校で活用することで、その有効性を示した。パターン・ランゲージとは、良い設計や良い実践の経験則を言語化する方法であり、建築の設計分野で生まれ、その後、教育の実践などの多様な分野で応用されてきたものである。本研究では、専門学校における建築専門職教育において、学習者が経験的に学びを深め、実践的なスキルを系統的に習得できるようになる新しい学びの支援方法として、「学ぶ内容」（設計）と「学び方」（実践）の二種類のパターン・ランゲージを作成した。 第一の「学ぶ内容」のパターン・ランゲージとして、設計課題のテーマに関連して「バイオクライマティックデザインによる住宅設計パターン」を作成した。さらに、これをもとに、設計作品の評価のためのループリックも開発した。そして、専門学校において研究授業を実施し、パターン・ランゲージを利用する方が、利用しない従来の指導方法よりも効果的であることが実証された。また、この方法を活用することで、オンライン授業でも、対面授業に近い学習効果を生み出す可能性が示された。 第二に、「学び方」のパターン・ランゲージとして、「建築を学ぶためのパターン」を作成した。そして、これを用いたワークショップを入学時に実施し、新たな学びへの参加と習得への不安を軽減することが明らかになった。また、2 年次進級時の学生に対して、学びと進路をテーマとしたワークショップ実施し、学習者が科目間の関連性を理解し、参加、習得、進路という学びの段階性を認識するための有効な方法であることが確認された。さらに、自己の学びや将来のキャリアに対する省察を促す効果も示された。 本研究の提案は、専門学校において広く見受けられる、資格取得に特化した「知識習得的な教育」と、学生の自主性を重視した「放任的な教育」という二極の間を埋めるものと位置づけることができる。そして、その専門職教育に特化したパターン・ランゲージを作成し活用することで、系統主義教育と経験主義教育の長所を組み合わせた専門職教育カリキュラムをつくることのできる可能性が示された。				

キーワード： 専門学校，建築専門職教育，カリキュラム・デザイン，パターン・ランゲージ，系統主義と経験主義